防災安全合わせガラスのご注意

設計・施工上のご注意

❶防災安全合わせガラスは、飛来物衝突の安全性、防犯性及び人体衝突の安全性を有する合わせガラスです。4辺支持のサッシに「合わせガラスの標準施工法」に準じて施工して下さい。
❷ガラスの温度が70℃を超えると、中間膜に発泡現象が生じることがありますので、使用場所にご注意ください。
❸中間膜（ポリビニールブチラール）は、有機系の溶剤に侵されるので、エッジ部にはご注意ください。
❹エッジ部を露出した使い方は、絶対に避けてください。露出部分に水が浸透し、中間膜が劣化し、剥離や白濁する原因となります。
❺サッシ下辺には、必ず水抜き孔（φ5mm以上）を3カ所設けてください。

ラミレックスBb「BL保険」についての免責事項
（一般財団法人ベターリビングの免責事項より抜粋）

❶本基準の適用範囲以外で使用した場合の不具合(4辺支持のサッシに「合わせガラスの標準施工法」に準じて施工されていない場合の不具合)
❷ユーザーが適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合
❸メーカーが定める施工説明書等を逸脱した施工に起因する不具合（標準施工法）
❹メーカーが認めた者以外の者による住宅部品の設置後の移動・分解などに起因する不具合
❺建築躯体の変形などの住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合、塗装の色あせ等の経年変化または使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象
❻海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
❼火災・爆発等事故、落雷・地震・噴火・洪水・津波・竜巻等天変地異（但し、台風は除く）または戦争・暴動等破壊行為による不具合

防犯ガラスのご注意

採用にあたってのご注意

❶防犯ガラスのみで外部からの侵入を防ぐことはできません。サッシは防犯ガラスの性能を十分確保するためサッシが壊れてガラスが脱落しないよう枠材の強度が高いものをご採用ください。補助錠や面格子、雨戸、シャッター、セキュリティシステム、防犯カメラを取り付けるなどの対策も併せて講じてください。
❷「施錠忘れ」の箇所からの侵入も多く発生しています。玄関、窓などの開口部は必ず施錠してください。

設計・施工上のご注意

❶防犯ガラスは、製造後の切断、孔あけ、曲げ加工はできません。寸法および形状は正確にご注文ください。
❷「防犯ガラスの標準施工法」に準じて施工してください。防犯性能を確保するため、かかりしろは10ミリ以上としてください。その他、P.88の「防犯ガラスの施工・使用に関する板硝子協会基準」をご参照ください。
❸ガラスの温度が70℃を超えると、特殊樹脂膜に発泡現象を生じることがありますので、使用場所にご注意ください。
❹特殊樹脂膜は有機系の溶剤に侵されますので、エッジ部にはご注意ください。
❺防犯ガラスは、4方枠に入る納まりとしてください。エッジ部を露出した使い方は絶対に避けてください。本来の防犯機能が発揮できなくなります。また、露出部分に水が浸透し、中間膜が劣化し、剥離や白濁する原因となります。
❻サッシ内の排水をよくするため、サッシ下辺には、必ず水抜き孔（φ5mm以上）を3ヶ所設け、施工前にサッシ内を清掃したのち防犯ガラスをはめ込んでください。
❼熱処理加工を施した耐熱強化ガラスなどは、単板ガラスとして使用する場合よりも防犯ガラスとして使用する場合のほうが反射映像や透視映像のゆがみが大きくなる傾向がありますので、予めご了承ください。
❽単板ガラスの2倍以上の重量になりますのでそれに耐えるサッシ断面としてください。
❾グレイジングチャンネルによる施工は、主に住宅などで使用する場合で、防犯ガラスの呼び厚さが6.8ミリ以下、かつ排水に有効な水抜き孔のあるグレイジングチャンネルを使用してください。
❿専用のグレイジングチャンネルは、サッシ溝幅が9ミリのサッシ以外にはご使用になれませんのでご注意ください。
⓫専用のグレイジングチャンネルは、組み直しのために無理にサッシからはずそうとしたり、ズラしたりすると、グレイジングチャンネルのコーナー組み付け部分が外れてしまうことがあります。組み立ての際には組み込み位置を十分に確認して行ってください。

警告 グレイジングチャンネルのみをもって吊り下げますと、グレイジングチャンネルが外れる恐れがあります。絶対に吊り下げて持たないようにしてください。

⓬直射日光の当たる場所で保管されるとグレイジングチャンネルが収縮することがありますので、絶対に避けてください。
⓭その他、ガラス共通の注意事項が記載されていますP.2~5の「ガラスを安全にご使用いただくために」をご参照ください。

熱割れのご注意

❶ガラス面にカーテンやブラインド、布団、家具などを密着させないでください。また、熱のこもりやすい構造は避けてください。
❷ガラス面にペンキを塗ったり、紙を貼ったりしないでください。
❸空調装置の吹き出しエアーが、直接ガラス面に当たらないようにしてください。
❹ガラス面に日射調整フィルムや装飾カラーフィルムなどを貼る場合は、熱割れの恐れがありますので、事前に熱割れの検討を行ってください。
❺熱線吸収板ガラス（グリーンラル）、高性能熱線反射ガラス（スカイクール）、網入、線入板ガラスを使用した防犯ガラスは、フロート板ガラスの防犯ガラスと比較して熱割れが生じやすいので、事前に熱割れ検討を行ってください。
❻その他、ガラス共通の注意事項が記載されておりますP.2~5の「ガラスを安全にご使用いただくために」の「熱割れに関するご注意」をご参照ください。

合わせガラスのご注意

設計・施工上のご注意

❶合わせガラスは製造後の切断、孔あけなどの加工は不可能ではありませんが、クリーンカットが難しくガラスの強度が低下する恐れがありますので、寸法および形状は正確にご注文ください。
❷「合わせガラスの標準施工法」に準じて施工してください。
❸ガラスの温度が70℃を超えると、中間膜に発泡現象が生じることがありますので、使用場所にご注意ください。
❹中間膜（ポリビニールブチラール）は、有機系の溶剤に侵されるので、エッジ部にはご注意ください。
❺エッジ部を露出した使い方は、避けてください。露出部分に水が浸透し、中間膜が劣化し、剥離や白濁する原因となります。
❻サッシ下辺には、必ず水抜き孔（φ5mm以上）を3カ所設けてください。
❼高性能熱線反射ガラス（スカイクール）を使用される場合、単板と合わせガラスが隣接する場合は、色調に顕著な差が生じることがありますのでご注意ください。特に反射膜面を合わせガラスの中間膜側にして合わせ加工しますと、反射率が低下します。
❽熱処理加工を施した耐熱強化ガラスなどは、単板ガラスとして使用する場合よりも合わせガラスとして使用する場合の方が反射映像や透視映像のゆがみが大きくなる傾向がありますので、予めご了承ください。
❾ラミレックスソネスを使用される場合は、防音性能を十分に発揮させるため、防音サッシまたは気密性の高いサッシをご使用ください。
❿カラー中間膜を使用される場合、ガラスの大きさによっては中間膜をつなぐ必要があるため、つなぎ部に線状のムラが発生することがありますので、予めご了承ください。
⓫その他、ガラス共通の注意事項が記載されていますP.2~5の「ガラスを安全にご使用いただくために」をご参照ください。

熱割れのご注意

❶ガラス面にカーテンやブラインド、布団、家具などを密着させないでください。また、熱のこもりやすい構造は避けてください。
❷ガラス面にペンキを塗ったり、紙を貼ったりしないでください。
❸空調装置の吹き出しエアーが、直接ガラス面に当たらないようにしてください。
❹ガラス面に日射調整フィルムや、装飾カラーフィルムなどを貼る場合は、熱割れの恐れがありますので、事前に熱割れの検討を行ってください。
❺熱線吸収板ガラス（グリーンラル）、高性能熱線反射ガラス（スカイクール）、網入、線入板ガラス、カラー中間膜を使用した合わせガラスは、フロート板ガラスの合わせガラスと比較して熱割れが生じやすいので、事前に熱割れ検討を行ってください。
❻その他、ガラス共通の注意事項が記載されていますP.2~5の「ガラスを安全にご使用いただくために」の「熱割れに関するご注意」をご参照ください。